

日本伝熱学会関西支部 第 19 期定時総会、 支部設立 20 周年特別講演会、第 1 回講演討論会

日 時:平成 25 年 5 月 2 日(木) 13:00~20:00

会 場:大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館

アクセスマップは <http://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/nakamozu.html>

13:00~13:30 関西支部第 19 期定時総会

13:30~14:20 支部設立 20 周年特別講演会

13:30~14:20 平田 雄志 氏(元支部長, 大阪大学)

題目: 研究の転機と思い出ー輸送現象からプロセス強化へー

14:20~15:10 武石 賢一郎 氏(元支部長, 大阪大学)

題目: ガスタービン伝熱技術の 40 年の歩み

15:10~15:20 休憩

15:20~17:20 第 1 回講演討論会

15:20~16:00 網 健行 氏(関西大学)

題目: 離散気泡モデルによる二相流ダイナミクスに関する研究

概要: 本研究では気液密度比が非常に小さくなる水平細管内液液二相流や、大きなボイド伝播を伴う流動脈動下における沸騰二相流に離散気泡モデルを適用し、流動様式の遷移、ボイド率変動挙動について検討した。

16:00~16:40 伊藤 大介 氏(京都大学)

題目: 気液二相流計測の高度化及び京大炉での二相流研究

概要: 本講演では、多次元的な気液二相流動の計測手法の高度化に関して紹介する。また、京都大学原子炉実験所における中性子イメージングや放射線照射による二相流研究に対する今後の展望について紹介する。

16:40~17:20 熊野 智之 氏(神戸高専)

題目: ふく射輸送に注目した生活環境の改善について

概要: 人体と壁とのふく射輸送量を制御することにより冷暖房効果を実現しようとする試みが、省エネや快適性の観点から注目されている。本講演では、壁面の放射率に注目した、ふく射冷暖房の効果を高めるための研究について紹介する。

18:00~20:00 懇親会

総会定足数の確認と会場準備の都合上、支部定時総会・特別講演会・懇親会のご出席を、4 月 19 日(金)までに、常任幹事 松本充弘(京都大学) matsumoto@kues.kyoto-u.ac.jp 宛ご連絡下さい。